

【三宅村】 校務 DX 計画

1 統合型校務支援システムの積極的な活用

令和6年度より、全小中学校でフルクラウド統合型校務支援システムを導入したことで、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の軽減や出欠席・成績関連の記録等データの一元化管理、データ連携による業務効率化推進の継続を図る。

2 教員用の校務系PCと指導用端末の統合

次期指導用端末の更新に向けて、同端末を校務系のみならず指導用としても活用するための検討を行う。このことによって、教員の2台持ち体制を解消することができ、場所に捉われない働き方を実現する。

3 生成AIの校務での活用

現状は生成AIを校務で活用はしていないが、教職員の校務効率化を目的とした生成AIについて情報収集、利活用方法に向けた検討を行う。

4 FAX・押印の原則廃止

既に学校や保護者または教育委員会間でのやり取りでFAXは廃止している。しかし、押印については、一部で保護者や外部とのやり取りで押印・署名が必要な書類がある。通信障害等を除き、学校等へFAX・押印の原則廃止に向けて働き掛けを継続的に行い、校務DXの推進を図る。